

ストロボ設定一覧(カメラ内蔵フラッシュ)

【Canon】

(2023.8月現在)

	カメラ機種	カメラフラッシュ設定	ストロボモードダイヤル	プリ発光キャンセル設定	光入力設定
コンデジ	IXY 410F※1※2	強制発光	マニュアル1 / TTL	A(出荷時設定)	モード10(出荷時設定)
	Power Shot SX230HS※2				
	Power Shot S100				
	Power Shot G1 X※2				
	Power Shot D20				
	Power Shot S110※2				
	Power Shot G15※2				
	Power Shot S120※2				
	Power Shot G16※2				
	Power Shot G1 X Mark II				
	Power Shot G7 X				
	Power Shot G7 X Mark II				
	Power Shot G9 X Mark II				
1眼レフ	KissX2	強制発光	マニュアル1 / TTL	A(出荷時設定)	モード160
	KissX3				
	KissX4				
	KissX5				
	KissX6i				
	KissX7i				
	KissX7				
	KissX8i				
	Kiss X9i				
	7D				
	7DMKII				
	70D				
	80D				
ミラーレス	M5	強制発光	マニュアル1 / TTL	A(出荷時設定)	モード160
	R50				

※1 MENU ⇒ ストロボ制御 ⇒ 赤目自動補正は“切”にてお使い下さい。

※2 カメラのモードをMでご使用の場合、カメラ内蔵フラッシュがプリ発光のないマニュアル発光になりますので、モードダイヤルの設定をAに設定してください。

※ 他社製ハウジングでは、光ファイバーケーブルの取り付け位置などの関係により、DS-TTL及びDS-TTL II が正しく調光しない場合があります。対応については事前に各ハウジングメーカー様へご確認をお願いします。

ストロボ撮影の一般的な設定、注意点

- ・カメラ内蔵ストロボは強制発光に設定してください。赤目軽減設定はOFFにてご使用ください。
- ・カメラ内蔵ストロボをマニュアル発光(プリ発光を行わない発光)に設定した場合は、DS-TTLII機能はご使用になれません。
- ・AFの補助光を内蔵ストロボで行うカメラでは、機能をOFFにてご使用ください。(主にキヤノンカメラ)
- ・対応確認時ISOの設定は100ないし200。ISO感度をオートもしくは高めに設定すると発光量が減り、適正な明るさにならない場合があります。
- ・光ファイバーケーブルが劣化し、ケーブル被覆内の芯の折れ等で、ストロボに伝わる光が減少すると、適切に調光しない、フル発光する、発光しない等の現象が現れます。
- ・すべてのカメラのファーム検証を弊社では行っていません。当社の基準にて検証機種等を選定しておりますので、更新等を行う場合、一度お問い合わせの上、ご対応いただけますようお願いいたします。